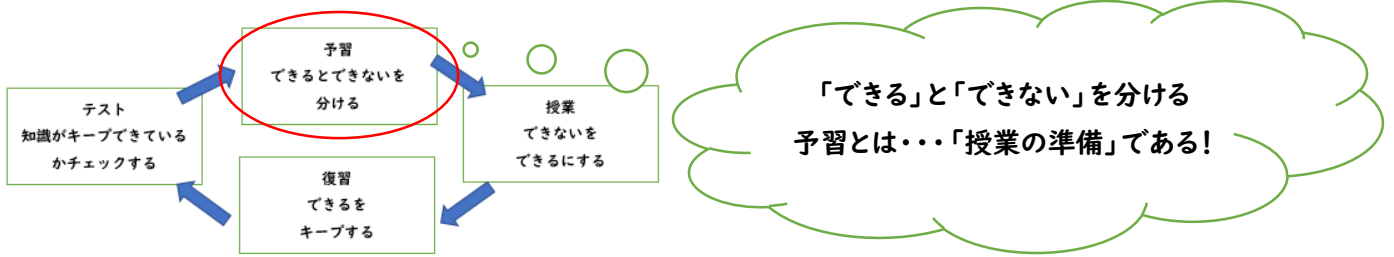




郡っ子まなび通信 No.7

勉強は大きく4つ「予習・授業・復習・テスト」に分かれるということ、前回のまなび通信で紹介していききました。これからはそれぞれの項目の取り組み方について紹介していききたいと思います。



■予習をするとどんないいことがある？



- 1、授業についていけるようになる
- 2、授業中に「イイ気分」を味わえる



「自分にだって出来る!!!!」と思える! やる気 UP!



「僕はどうせ出来ない・・・」「何をやっても無駄だろう・・・」と諦めているそのアナタ!!!!

予習というちょっとした準備によって、達成感を味わうことが出来るのです。

今までの勉強に対するネガティブな気持ちを消すとおきの方法こそが「予習」なのです!!!

■じゃあ予習って、何をやるの? ~予習の中で出てくる「?」は大事!~

「できること(わかっていること)」と「できないこと(わかっていないこと)」を分けるために、どのようなことをすれば良いでしょう・・・!



1、疑問を教科書やノートに書き出す。

例えば・・・英語の教科書をあらかじめ読み、意味が分かる文章と意味が分からない文章を分ける。

数学の問題で、あらかじめ問題を解きましょうという課題が出たら、解ける問題と解けない問題を分ける。

2、あらかじめ「自分の答え」を準備しておく。

分からないときにあらかじめ自分で調べて、自分なりの答えを持った上で授業にのぞむことは、高校や大学でより求められる力です。

このことをせずに「わからない→授業で聞く」としてしまうと、勉強が丸暗記になってしまい、定着しないという危険性があります・・・!

「予習」の時間も日々の学習の中に取り入れながら、

次のステップである「授業」の時に、「わかった!」「できた!」が実感できるとイイですね★

やればできる!まずはやってみること!実践が大事!試してみて自分流の学び方を見つけ出そう!

